

全国同時七夕講演会 2012



「織女星と彦星」
vega & altair

七夕伝説で織女星と彦星として有名な二つの明るい星は、天文学ではそれぞれ「こと座・ベガ」と「わし座・アルタイル」と呼ばれています。

本講演では、これらの星について、また、夜空では二つの星を隔てる「天の川」について、天文学的観点から詳しく解説します。

講演終了後は、「荒木望遠鏡」による天体観望会の実施を予定しております。私立大学最大の望遠鏡で、夜空の旅をお楽しみください。

- 開催日時 平成24年7月7日(土)18:00~18:45
※講演終了後、通常通り天体観望会を実施します(19:00~21:00)
〔悪天候時は、3D映像「宇宙への旅」(ライブ解説)を上映します〕
- 講師 河北秀世 神山天文台長(本学理学部教授)
- 場所 京都産業大学神山天文台サギタリウスホール(京都市北区上賀茂本山)
- 申込方法 事前予約不要(どなたでも参加して頂けます)
- 費用 無料
- お問合せ 京都産業大学神山天文台
Tel 075-705-3001 E-mail tenmondai-jim@star.kyoto-su.ac.jp
Webページ http://www.kyoto-su.ac.jp/kao/news/20120707_kouen.html

全国同時七夕講演会は、7月7日の七夕の夕方を中心とした前後の期間中に、全国各地で同時に講演会を開催し、天文学の普及の輪を広げようとするもので、日本天文学会と天文教育普及研究会との共催事業として、本学天文台が実施するものです。